

<p>展開 30分</p>	<p>4 個人で取り組む T:表を作り、変わり方のきまりを見つけましょう。そのきまりをつかって、式も書きましょう。</p> <p>5 グループで話し合う。 T:ホワイトボードに書きながら、グループで話し合しましょう。 <予想される児童の反応> ・りんごが1個増えると、代金の差は100円増えた。1300円に近づいた。 ・100円ずつ増えると分かったから、表は途中でやめた。 ・100円が5回増えたら、代金の差が1300円になる。なので、りんご20個を5個増やした。</p> <p>6 全体で意見を交流する。 T:どのように答えを求めたか教えてください。 C:りんごが1個増えると、代金の差は100円増える。 C:変わり方のきまりを見つけると、式をつかって求められる。 C:式は $1800-1300=500$ 500円増えた。 100円ずつ増えるので、$500 \div 100=5$ 5回分増えるので、りんごは $20+5=25$</p> <p>8 適用題を解く。 (1) 個人で解く。 (2) グループで話し合う。 (3) 全体で交流する。</p>	<p>個</p> <p>○机間指導をしながら、児童の実態を把握する。 ○分からないところはそのままにし、グループ活動で解決していけるようにする。</p> <p>グ</p> <p>○全員表からきまりが見つかるようにグループ皆で説明し合ったり、確認し合ったりさせる。 ◆変わり方のきまりを見つけて問題を解くことができる。【知識・理解】(ノートの記述より) ◆変化の様子に着目し、表を使って変わり方を調べている。【思考・判断・表現】(発言・ノート) ◆結果の見通しを立ててから、表に書いて変わり方を調べようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】(発言・ノート記述より)</p> <p>斉</p> <p>○教師は各グループのホワイトボードを掲示する。 ○ほとんどのグループで表ができ、きまりも書いている場合は、意図的指名をして、グループに説明させる。 ○変わり方のきまりが見つければ、表を全部書かなくても問題が解けることに気付かせる。 ○押さえないポイント ・見通しをもって表をかく。 ・表は途中から始めてよい。 ・変わり方のきまりから式を使って求められる。</p> <p>個</p> <p>○適用題を個人で解かせ、グループで話し合い、全体で共有する。</p> <p>グ</p> <p>○机間指導をしながら、児童の実態を把握する。</p> <p>斉</p> <p>○見通しを持たず表をかき始めている様子が見られたら、グループで交流させ、見通しをもてるようにする。</p>
<p>終末 5分</p>	<p>9 本時のふりかえりを行う。 C:表をかいたら変わり方のきまりは簡単に見つけられる。 C:表をかく前にどれくらいになりそうか見</p>	<p>個</p> <p>○本時の学習で学んだことをノートに記述させる。</p> <p>斉</p> <p>○発言を板書し、全体で書いた内容を共有する。 ◆結果の見通しを立ててから、表に書いて変わ</p>

